

ADULT ONLY!!

萌東方幻想郷

東方春告精

WHITE
LOVER.

Luft Forst



——自然の力が弱いときには、妖精の力も弱くなる。

冬の深雪に覆われた魔法の森。寒々しい冬の空気に覆われた森の中、
ひっそりと隠れるように在るのがわたし達の棲家。

『……………それじゃ、私はちょっと外で用事があるから出かけてくるわ。
お留守番お願いね、ホワイト？』

お姉ちゃん……………、私の姉のリリーブラックは、
秋を告げる妖精として知られている。
冬になってもそれなりに活動できるみたい。
でも、わたし……………、リリーホワイトは『春』の妖精だ。
自然、四季の対称になる『冬』はほとんど動けなくなってしまう。

『……………うん。いってらっしゃい、おねえちゃん。
……………今日も、お兄ちゃんのトコロかな？』

こうして話してるだけでも、さっき起きたばかりなのに眠気と疲労が襲ってくる……………。
春になれば寝なくても大丈夫な位なのに。

『ええ。あのバカ、まだ人間の里に移ってから慣れてないみたいだから……………
まったく、世話が焼けるわ…』

そう言いつつも、内心はとってもお兄ちゃんの事を気にしてる。
動けないわたしにはちょっと妬ましくて羨ましい。

お兄ちゃんは、ちょっと前までわたし達と一緒に暮らしていた人間だ。
人間に慣れていたわたし達には、
外の世界から迷い込んだお兄ちゃんにどんどん惹かれていった。
でも、博麗の神社で指南を受けてからは、お兄ちゃんは人間の里で暮らす事になった。
わたし達は、時々里までお兄ちゃんに会うことにしたんだけど……………
冬になってしまってから、わたしだけ取り残されていた。

『……………行っちゃった。……………お兄ちゃん、今頃どうしてるかな……………？
……………わたしも、会いたいな……………』

3人で暮らしていた住処だけど、今はとっても広くて、寒くて、寂しく感じられて…。
お姉ちゃんがいなくなると、眠気と疲労に併せて、切なさがわたしを襲ってくる——

『……………うっ、……………ひっく、おにいちゃんっ……………。おにいちゃんっ……………ツ！』

ベッドで私は一人、自分を慰めるしか出来なかった。
……………自分でもびっくりするくらい濡れてても、不思議と寂しさしか考えられなかった。

『……………あつ、…んっ……………くうッ……、……………会いたいよお……………！
ううっ、会いたいよ、お兄ちゃんツ……………！！』

体以上に、ココロの方がお兄ちゃんを想っていたから。季節も、体も、心も、
冬に犯されていくのに耐えられなかったからっ……………！！

『……………そんなに会いたかったのか？』

『うんっ……………！ううッ……………、会いたいわ……………！！ ……え？ ええっ……………！！？』

はっと気づくと、目の前には…お兄ちゃんの顔があった——

WHITE LOVER. プロローグ





初作『あっ、お兄ちゃん！？あっ、なんでなんでっ？
どうしてここにいるのっ！！？
今ごろ、お姉ちゃんと会ってるはずなのにっ……………！』



SOUND ONLY

「いや、最近引っ越しの後で何かと忙しかったからな。
やっと暇が出来たから、たまにはこっちから出向こうと思って。
…でも、まさか……………やけに静かだと思ったら、ホワイトが
オナニーしてたなんて思わなかったけど……………」

『~~~~~っっ！？ ちっ、ちが、ちがうよっ！？
そんなコト、してないもんっ！
ここっ、こねはっ、そっ、そのっ……………！！あの……………、
お姉ちゃんのマネ……………じゃなくって！あ、あのっ……………！！』



SOUND ONLY

「……………わかってるよ。途中からブラックしか
俺の様子を見に来ないから、気付くのが遅れたんだ。
ごめんなホワイト。……………寂しかったか？」

『————…っ！！……………うん。
……………でも、もう、だいじょうぶだよ。ありがとぅ、お兄ちゃん……………♪
えへへ……………さっきのひとりごと、全部聞かれましたね……………。
恥ずかしいよ……………』



SOUND ONLY

「そんなコトないぞ。寂しいのはホワイトだけじゃなかったんだぞ？
……………っっていうか、ホラ、ホワイトのひとりエッチを
外で隠れて見てたから……………その、俺のナニが……………」

『…わっ！？ちよっ、ちよっと……………！
も、もうこんなんっ…あきくたつてる……………！！
……………もうっ、お兄ちゃんてばっ……………え、エッチだよあ……………！』



SOUND ONLY

「そんな事言われても……………ひさしぶりのホワイトの笑顔とか、
声とかニオイとかで興奮するんだって。
…ああ、ダメだ。ホワイトが可愛すぎて、
どんどんエロくなりそうだ……………じゃあそろそろ、イイか？」

『らっ、うん……………、……………おにいちゃん……………い、いいよ……………？
…あっ、さ、さっきので……………ぱんっ、
よごれましたから……………こねだけ脱いで……………』



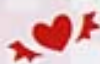
SOUND ONLY

「……………ぱんつたくし上げなんて、ドコでそんなエロいテクニックを…。
ブラックもそんなコトしてなかったハズ……………じゃ、なかった。
そ、それじゃこのまま、挿入するよ……………っ！！」

『ひゃあまっ！？ちよ、ちよっと待ってえ……………
そっ、そんなつもりで脱いだんじゃ……………っみあまっ！？
いっ、いやあ！！おにいちゃん、そんなっ、いきなり……………
早すぎるよあっ……………！！？』







初台 『やあっ！いやあ…んっ！！やあまま…ちょ、ちょっと……
あ、おにいちゃんのが、おにいちゃんのが、入ってきちゃ……ああっ！！
あっ、おにいちゃん！』



**SOUND
ONLY**

「うわっ………ちょ、先っぽしか挿入れてないのに…！
ホワイトの中っ、すごいヌルヌルじゃないか…！やばっ………！
最近射精してなかったから、こっ、こんなんじゃ………ちょっ、でっ、出るツツ！！！」

ビュルッ！！ビュルル！！ドクン！！ドクン！！

『きゃあっ！！？いっ、ああっ！！
…あっ、おにいちゃんの………熱いのがっ………！
…おなかに………あっ、あねっ………？ま、外に………射精で………る？』



**SOUND
ONLY**

「お…思ってた以上に気持ち良すぎだったっ………！思わずおま●こから
おちん●ん、抜けちゃったよ…！ホワイト…お股の間、すごいヌルヌルだよ？
………やっぱり………ブラックがないから………」

『………っ！！いっ、いやああっ………い、言わないでエ………っ！！
あ、お姉ちゃんはっ………関係ないもんっ………！』



**SOUND
ONLY**

「………リリーブラックがない間に、オナニーしたり
イクナイコトしてるっていうのが…興奮するんだ？
あ、………ばんっ、精液でべちゃべちゃになっちゃったね。
…悦いじゃおうか。次はちゃんと…」

『…だっ、だめだよ！お兄ちゃんっ！
………こ、こ木以上してたら、おねえちゃんが帰ってきちゃうよ………！』



**SOUND
ONLY**

「大丈夫だって。なるべく早く終わらせるから………！
それに、この機会を逃すと、
次はいつ会えるかもわからないぞ？」

『う、うん………お、わかったよ…。そ木じゃ、い、いいよ………！
で、………でも、ちゃんと外で射精してね………？
わたしの中で出しちゃ、だ、ダメだよ………？』







—じゃあ、後ろから……
ホワイトの膣内^{なか}に、
挿れるぞう……？

あ、おにいさま……
ゆっくり……
ゆっくり、入れてお……？

イクモ……ああ、いつ見ても
ぶくりした可愛いおま……こた……

痛くは……
おんす……

ああ……、ホワイトの膣内^{なか}に
入ってゆくよ……
こんな柔らかなの、ミチミチ
締まって……やはい……



あが
あが
あが

ミチッ

す
ズ

ひゅアアア!!
あ、おにいさま……
そんなっ、イキナリ奥まで……

くああ……!!
なんだこれ……
くうッ……

グイッ

……ホワイトのナカ、
キツいのになかの肉が
うごめいて……
チ●コが
とろけそうだし……!



かわいいよ……リリ、リリホワイト……
 じゃ……一気だ、小陰帯から子宮口の奥まで……
 膣内エステン、イクよ……リリ……?



はっ……、ホワイトの中……
 凄くあったかくて、ミッチリだ……♡

リリ、リリ、リリ、リリ……
 おっ……おっ……おっ……おっ……
 入っす……入っす……入っす……
 ……♡♡♡♡

ホ、ホワイト……リリ……
 おっ……おっ……おっ……
 コントロldたいの……
 わかるか……リリ……?

リリ……リリ……リリ……
 ……♡♡♡♡



おっ……
 もっと……もっと……
 出っ……出っ……
 ……♡♡♡♡

おっ……おっ……
 ……♡♡♡♡

おっ……おっ……おっ……
 ……♡♡♡♡

……くっくっくっくっ……！
 ホッ、ホワイトッッ！
 ホワイトの顔を見ながら、
 シたいっ………！
 せつ、正上位で……
 コッチ向いてッ………！

由……いやまんわっつ……
 ぶまぶつっ、あまんわ……
 奥に挿入れた
 おちんちん………ッ、
 ヒネら高いでっ………ッ……！

グッ

あ………、おちんちん……
 わたしの十カでっ………
 びくびく、してまっ………！

あ……

……っあぁっ……
 もっ、もっ、射撃そうた………ッ……
 ……ホワイトッ……
 もっ、もっ、カマンできなぞッ………

は………
 おっ、お兄さま………
 だ、ダメだよ………
 膣内に出します………ッ
 約束したの………

わ、わかって………
 ても………
 ……

……一秒でも、
 一往復でも多く、
 ホワイトの膣内を
 感じてたいから………！

アッ

俺の………限界………
 っ………
 ……

………
 ……
 ……
 ……
 ……

おにいちゃん……、いいよ……？

くっくっえっくっくっ？
ど、どうしたんだっ……？

ホッ、ホワイト……っ……？

ホワイト……の、
大事……なっ、トコロで……
気持ち………おん、
………なっ………♡

わ、わかった……っ……
せ、責任は取るからなっ……！
………ホワイト……！

………せし、赤ささる
でさすさったら………
一跡におねえささと
怒らねえわいっ

いいよ………出っ……♡

おんさ……♡

うん………
おん………♡

あ………
もちろんだっ……！





オシッコ

ビュッ

カクカク

ドクドク

ゴク

はあっ……はあっ……
だ、出た……うわ、
よあ……♡

膈内の奥……
子宮の中が満タンに
なるくらい……
たじろ……

はあっ……はあっ……
止まらないくらい……
射精で……るよ……
ホワイト……

ハッハッ

ムンムン……

ハッ

ムン

ハッ

ハッ

……ああ、大好きだよ……っ！
リリーホワイト……っ！

……わたしも……
わたしも……

おにい……ちゃん、のま……
あつ……いい……精液……
お……つ……この……奥に……ッ！

ぬん

ムン

ムン

ぬん

ハッ

……大好きだよ、お兄ちゃんっ……♡



リリーホワイト&ブラックの
東方春告精 乗取後書！



リリーブラック(以下ブラック 『……………それじゃ、私はちょっと外で用事があるから出かけてくるわ。お留守番お願いね、ホワイト？』

リリーホワイト(以下初作 『うん。行ってらっしゃい、おねえちゃんっ♪おにいちゃんの看病はわたしが頑張るよ〜っ☆』



KAZAMI 滯(以下滯 『…ゲフッゴフツ、グエエエエツ！！……………こ、こんな時期に東方風邪(勝手に命名)に罹るとわ……………！！さっきまでのエロ展開も、結局のところ夢オチかYO！！……………ふ、不覚……………ツ！！』



ブラック 『…馬鹿でもエロだと風邪を引くみたいね。観念して大人しく寝てるのよ？……………まあ、その調子じゃ看病してるホワイトに手も出せないでしょうけど。』

初作 『さ、さすがに病気じゃおにいちゃんも動けないよっ……、お、おえ？おにいちゃん？』



滯 「ゴホッ…、そ、そうだな……………。
個人的には、ブラックも一緒に看病してほしいんだけどなア…、ゲフッゲフン！！』

ブラック 『…なっ、何を言ってるのよっ……………！わ、私は忙しいのよ！ アンタみたいな幻想郷の虚弱王に、イチイチ構ってられないわよっ！！』

パタンッ！！



初作 『……………行っちゃった。またお姉ちゃん、怒ってたね……………。
…でっ、でもおっ！お、おにいちゃんのコトは絶対、ブラックお姉ちゃんも心配してると思うよっ、おっ？おにいちゃんっ！？』

滯 「…現実でもホワイトは優しいナア…！……………まあ、現実になんかコトしたら、すぐさまブラックが飛んでくるか……………はあ。」



初作 『…………………………それでも、ないよ……………おにいちゃん？』

滯 「へ？」

■挨拶っぽいもの

どうも、特技は?…と問われたら、『泣き寝入りですね』と答える、KAZAMI 滯です。
この作者は特殊な訓練を受けています。(?)

今回も前歯が折れたり原因不明の股関節痛にもめげずに、
無事(ではないけど)19冊目となる東方オフセット同人誌刊行です。
毎回御鼻屑にして頂いている読者の皆様にも、多大なる感謝と敬愛を申し上げます!

■リリーホワイトについて

さて、今回のリリーホワイト本は、丁度3年前の冬に発行した白百合大往生ホワイトレーベルに次ぐ、
ホワイトオンリー本になりました。
前作を製作した頃は、まだまだ乗っ取りあとがきも始まったばかりで、ほぼ完全オリジナルキャラ状態でしたね。
……まあ、今現在に至ってもその状態はあまり変わってないんですが……。
東方ジャンルになっているのか不安になるなあ(汗)

それでも自分でおにいちゃん属性や、あまり加えない純愛要素や、暴走する工口脳とか混ぜ合わせてみました(・ω・)
今までの自分の本が、基本陵辱っぽい展開が多かったので純愛は久しぶりに描きましたが……。
やっぱり慣れないものです。ムズい。まあ、リリーホワイトなら仕方ないな。(汗)

ちなみに初めてネット上に公開したKAZAMI 滯の東方絵は、リリーホワイトです(東方最萌トーナメント1回戦より)。
初心忘るべからず。

■同人活動について

いつの間にか描いてきた同人誌も19冊。ここまで続いている事自体が奇跡だと毎回思ってます。
今回もコミケカタログを見ながら、東方ジャンルの盛り上がりにも驚愕しました。神主愛されてます。男幕も含みますが(笑
自分としては気持ち変わらず来年も活動していこうと思います。
今日も星ルナに早苗Bで挑んで聖さんに撃墜されてきますよ(・ω・)

■次回予告だよ

今回はリリーブラック本です。足コキとツンデレと中田氏がアップを始めたようです。
発行は例大祭7を予定しています。……ですが、製作時間が短い!! 間違いなく修羅場になるでしょう。
オラに元気をッ!!(妄想玉)

それではみなさま、また次の本でお会いしましょう~~♪

かざみれいは ボタンを おした!
それは リセットボタン だった!

2009 12月某日 KAZAMI 滯

背景は諏訪湖近くにある、某館前です。……来年の諏訪大社御柱祭りは是非観に行きたいなあ。



嘘つき屋さんとの靴下合同でフランちゃん描きましたー。こちらもよろしくです(・ω・)

フラン描いたの5年ぶり(死

□ 奥付 □

発行：Luft Forst (ルフトフォースト)

発行者：KAZAMI 滯 (かざみ れい)

ホームページ：<http://luftforst.jp/>

発行日：2009年 12月30日 初版発行

印刷：PICO印刷さま

未成年者の購読・閲覧、無断転載・無断アップロードを禁止します。



All rights of the "Luft Forst" created reserved.

The character original bill to "Team Shanghai Alice"

雪落ちて まだかまだかと 白の山

春告精の 跡探す道

春の人



Luft Forst / Rei KAZAMI
2009 WINTER NO.19